

<2019年度人材育成及び地域活性化PTの目標>

課題③-取組1

産官学による共同研究により、福島市における中心的役割を担う人財像の明確化に向けた共同研究を行う。

※中期計画では「地方創生の中心的役割を担う」、「福島で必要とされる人財像」と記載されているので整理が必要？

○将来を見据えて「これからの福島が必要としている人財像」を言葉にする。

[0] 前提条件の整理

- ・どこで中心的な役割を担う人財なのか ⇒ 地域？ 企業？
⇒ 地域の場合は「周りを巻き込んでアクションを起こせるようなコア人材」を指す？
企業の場合、そもそも現状の求人やマッチングに問題はあるのか？
- ・将来予測のベースをどう設定する？ 人口減少／経済予測など？
- ・そもそも「将来」を何年後に設定する？「現在」の方が取り組みやすい？

[1] どうやって調べる？

- ・利用できる既存のデータはないか？
- ・商工会議所／同友会の会員の皆さんへのアンケート調査は可能？
- ・時間軸を考慮する？（過去⇒現在⇒将来の変遷を調査する？ 将来のことに絞って調査する？）

[2] どうまとめる？

- ・対象は「高卒」「大卒」？
- ・社会人基礎力などの既存のフレームを利用する？
- ・業種や職種によって分類する？or 幅広く求められる人材像？

[3] 誰が何をする？

課題④-取組1

中小企業における大卒者採用に対する雇用マインド変革に関する共同研究と経営者を対象とした講座の開発に取り組む。

○大学・新卒者と、雇用側のそれぞれのマインドをハッキリさせる。

大学の「こういう学生を育成し、輩出したい！」

学生の「学んだことやスキルを活かして、こういう活躍をしたい！」

企業の「こういう人材を雇用したい！」

3者はマッチしているのか？

雇用側の情報（今、こういうスキルが求められている！等）は多く発信されているが、教育の現場についての情報はあまり雇用側に届いていない

課題④-取組3

産官学連携による働く労働者を対象としたキャリアアッププログラムの共同研究と講座開発に取り組む。

○現在働いている方々に今後必要になる学びをハッキリさせる。

既存の職業訓練／就労支援・社会人向け教室やセミナーとの重複は避ける。

できれば未来志向のコンテンツを提供したい。⇒「今後はこういうスキルや知識が必要になる」等

課題④-取組4

産官学連携による市内企業等の合同説明会・就職セミナー開催に取り組む。

○市内企業等との連携事業として合同説明会を企画し開催する。

「高等教育機関連携PT」と連携し、市内企業等との連携事業として合同説明会を企画し開催する。

5月18日（土）に福島学院大学駅前キャンパスで開催予定、秋には桜の聖母短期大学で開催する予定。